企業と一丸となって生まれる企画・提案・デザイン。

企業に席を置くことで、社長と直接話をし新しい取り組みを進めたり、幹部会議にも参加することで、外側からは分からなかった内部の事情や現状を踏まえて企画・提案・デザインを綿密に行うことが出来る。

ベルハウジングの建てたお家の写真も担当

グッドデザイン賞用企画パネル
設計者である社長と共にコンセプトを決め企画書を作成。

UX デザイナーとは

「User Experience：ユーザーエクスペリエンス」の略称、ただ単に使いやすい・わかりやすいだけでなく、ユーザーの行動を導き、ユーザーがやりたいことを「楽しく・心地よく」実現するために企画をし設計することを UX デザインと呼ぶ。現在二社と契約し活動中。

見学会バスツアー
受賞したお家の見学会を企画。

B5 三つ折りパンフレット・ハガキ
月に一回、営業部と一緒に作り上げる。

1）建てたお家のコンセプトを設計・営業にしっかり聞く。

ベルハウジング様の建てるお家は、お客様のニーズに答え、一軒一軒設計をする注文住宅方式なので、それぞれコンセプトが違い、広告を作る上でも表現を変えながら製作。

2）社長と一緒になって企画書を作り上げた。

お家をグッドデザイン賞へ応募する際に、撮影や企画書づくりに携わる。社長と密に話し合いながらコンセプトにあう表現方法を決め進める。受賞した後には、バスツアーなど新たな企画を実施し波及を計る。

3）月刊誌も営業部や工務部と一緒に作り上げる。

月に一回製作している月刊誌も、営業部や工務部の方達と話し合い、取材をし文章製作や写真撮影の担当を決め作成していく。

制作物：月刊誌／見学会用 DM ／カレンダー／写真撮影／店内ポスター／各イベント企画・提案・デザイン／ SNS 管理

31
株式会社 ベルハウジング
〒890-0073 鹿児島市宇宿一丁目25-8
Tel. 099-250-0694 Fax. 099-250-0756
https://www.bell-h.jp

住吉 重彦 UXデザイナー
〒890-0042 鹿児島市薬師二丁目15-10
Tel. 099-251-1708 Fax. 099-251-4275
E-mail. sumiyoshi.wish.0427@etude.ocn.ne.jp

商品企画から情報発信、販路開拓まで一貫して関わる。

国内の花火工場が次々に廃業する中で、花火が持つ歴史的背景や意味を掘り起こして商品企画や情報発信に展開した結果、売上も上がり、社屋・ワークショップ施設を新設するなど事業拡大に繋がった。

商品企画・パッケージデザイン①
線香花火 筒井時正シリーズ。贈答用としてデザインした。

ヒアリングと情報発信
職人へのヒアリングから線香花火の火花に４段階の名称があることがわかり、線香花火の魅力として発信した。

商品企画・デザイン②
郷土玩具を参考にした、どうぶつはなび。

商品企画・デザイン③
花火に用いられる３種の金属をテーマにした花火。

空間デザイン
ショップを併設した新社屋のデザイン。

1）作り手だけでなく、売り手が売りたくなる商品にする。

パッケージデザインの段階で依頼を受けた場合でも、商品企画まで話を戻して商品ラインナップや価格設定を見直してからデザイン作業へ入ることで、取扱店が販売しやすいものを意識しながら開発を進める。

2）時間をかけて細部までヒアリングし情報発信に活かす。

どんなに魅力的な商品でもユーザーに正確な情報が届かなければ購買へと繋がらない。メーカーの歴史（背景）や商品をより深く理解し、売り手（取扱い店）や伝え手（メディア）が必要とする情報を整理して提供する。

3）商品とコンセプトを体験できる空間づくりを。

ショップ併設の社屋設計に際し、商品の展示販売にとどまらずワークショップ（線香花火作り体験）を受け入れられる空間とし、さらに日中でも花火を行えるように暗室も用意したことで、日中のテレビ中継も可能になった。

最終制作物：商品（１５点程）／商品パッケージ／商品カタログ（A4 変形）／ホームページ／ショップ併設の社屋／

32
筒井時正玩具花火製造所
〒835-01350 みやま市高田町竹飯1950-1
Tel. 0944-67-0764 Fax. 0944-67-2347
E-mail. info@tsutsuitokimasa.jp
http://www.tsutsuitokimasa.jp/

中庭日出海 なかにわデザインオフィス
〒811-1302 福岡市南区井尻5-24-15 #305
Tel. 092-586-6770 Fax. 092-586-6780
E-mail. info@nakaniwadesign.jp
http://www.nakaniwadesign.jp/

積み木からのステップアップ。その第一歩。

20年以上、良質な積み木を製作し、主にECサイトで販売してきた久留米市の製材所が、その実績をベースに地域のデザイナーと新商品を開発。販売方法も含め、新しいステージへとステップアップを図る。

& Learn（アンド・ラーン）/ どうぶつシリーズ（2018）
子供たちが遊びの中で無垢の木の心地よさや優しさ、温かさを感じ学ぶことができる木製玩具。

ディテール 1

ディテール 2

ロゴ

これまで、積み木の素材としても採用してきたドイツ産の良質なブナ材を使用。厚さは 2cm で無垢の木の重さや質感をしっかり感じることができるサイズ感に。子供たちの手にフィットするよう、動物の背の部分に大きくＲ加工を施している。機能的であると共に、造形上の特徴にもなっている。この商品を通して自然を感じ学んで欲しいという思いを込め「&Learn」とネーミング。「知育」も連想させる言葉で、感度の高いユーザーへの訴求も図っている。ロゴはベビーを連想させる「ひよこ」と「&」の文字を掛け合わせて図案化。丸みのある書体を使うことで「learn」という少し堅い単語を柔らかく表現している。

1）確かな技術、製材所の利点を存分に活用。

積み木作りで培ってきた精度の高い加工技術、仕入れコストを抑えながら良質な材料を入手できる製材所の利点、これらを強みに他社では真似できない商品に仕上げている。

2）ECサイトでの直販から卸販売へと、意識も変化。

商品本体だけではなく、パッケージやロゴデザインまでトータルに着手することで商品の完成度が上がり、卸販売への展開も見えてきた。

3）デザインアワードでの評価が更なる自信に。

『福岡デザインアワード2018』で流通部門賞を受賞。バイヤー目線でも高い評価を受けたことで、今後の取り組みへの弾みとなる。

最終制作物：プロダクトデザイン ／ パッケージデザイン ／ ネーミング ／ ロゴデザイン ／ リーフレット (A3)

33
合名会社 早田材木店（小さな大工さん）
〒839-0862 福岡県久留米市野中町685
Tel. 0942-34-4785 Fax. 0942-34-4786
E-mail. maruki@lime.ocn.ne.jp
https://www.rakuten.co.jp/tiisanadaikusan/

長尾朋貴 株式会社スウトデザイン
〒838-0824 福岡県朝倉郡筑前町原地蔵2232-24
Tel. 090-4276-1613 Fax. 092-510-1830
E-mail. info@sunaolab.jp
http://sunaolab.jp/

親から子へ受け継がれる家具。

創業1946年の家具メーカー株式会社たかやま。これまでの商品つくりを見つめ直すためにつくった新ブランドmanuf（マニフ）。機械加工と手加工を合わせて、永く使い続ける家具を提案する。

ダイニングテーブル　チェア
幕板の無いテーブル。肘付のイスも奥まで入る。

3人掛けベンチ
真ん中の木座はサイドテーブルとしても使える。

コートハンガー
座れるコートハンガー。荷物置きとしても。

ハイスツール
キッチンなどで使えるコンパクトなハイスツール。

スツール
シンプルでスタンダードなスツール。

販促ツール
展示会などで使用。

1）これまでとこれからのイメージ。

70年以上の歴史の中で培ってきたメーカーのイメージを把握するために、既存の商品を整理し、客層を分析する。客観的なヒアリングを通して見えてくる新ブランドのイメージをメーカと共考してく。

2）素材と目的。

どんな人に使ってもらいたい？注目した素材はペーパーコード。軽量化・たわみなど素材の特性を活かす事で女性、子供とっても使いやすい家具になる。

3）引き継いでいくもの。

天然素材の家具は、経年変化が美しく、手直しも必要。作って終わりではない。永く使うモノの提案はデザイナーの責任も大きい。今後も一過性で終わらないデザイン提案が必要。

最終制作物：商品デザイン（現在まで11点）／各商品リーフレット／展示会レイアウト

34
株式会社たかやま
〒834-0123 福岡県八女郡広川町藤田1417-4
Tel. 0943-32-3767 Fax. 0943-32-3789
E-mail. takayama@festa.ocn.ne.jp
http://manuf.jp/takayama-co-ltd

品川武士 シナガワデザインスタジオ
〒815-0041 福岡市南区野間2-6-23-301
Tel. 092-401-6100 Fax. 092-401-6101
E-mail. info@shinagawa-ss.com
http://www.shinagawa-ss.com

限られた空間の効率活用と店舗デザインで集客140%UP。

そもそもは空調設備不具合による店舗内の結露問題を解決したいとの依頼。衛生面の向上と商品陳列、動線の効率化を計画した店舗デザインにより、700人/日が1000人/日へ。下通り商店街の八百屋さん。

商品陳列量の向上
縦方向へ沢山の商品を陳列できる。(棚は可動式)

after

外壁の黄色の壁、内装壁も木毛セメント板を施工。結露対策。

befor

施工前写真
結露がひどい上に、すべてに手狭。

befor

施工前写真
レジ台裏の作業場が乱雑だった。

作業場の視線カット
乱雑だったカウンター裏の作業場を整備。

狭い空間での商品陳列量のUPと動線の確保。

菊池の農家直送の新鮮な野菜を毎日直送販売しており、日によって野菜の収穫量が違うので、陳列に問題があり、レジにお客様が並んだら商品を見れない取れない状況にあった。狭い空間でも来客動線を広くとり、縦方向の空間を効率利用ができる什器の工夫で、商品陳列量のUPと買い物しやすい動線環境を構築。スムーズにお客様対応ができるようになり、売り上げの向上に繋がっている。

新鮮野菜の魅力が的確に伝わり販売促進へ!

もともとブテック店舗を八百屋にして営業を始められたので、空調設備の問題で店内の結露がひどく、主力の新鮮な野菜への影響が出ていた。結露防止対策を行い、設備的な問題を解決しつつ、清潔で自然を感じる素材と木目調の明るいカラー計画でデザインを実施。照明の演出効果で商品の魅力を向上させ、ポップやプラスカードのデザインで販売促進に繋がる工夫が施されている。

最終制作物：内装デザイン＋施工／設備工事／ロゴデザイン／
ビニール袋／プライスカード／ポップ（グラフィツクデザイン：茂村巨利）

35
有限会社ラブラブグローバル菊池
〒860-0800 熊本市中央区安政町1-25 石沢ビル1F
Tel. 096-356-4911 Fax. 096-356-4912
E-mail. kimura@love-kikuchi.com
https://www.love-kikuchi.com

兒島正明 有限会社ファーストデザイン
〒810-0023 福岡市中央区警固1-12-5＃205
Tel. 092-738-1171 Fax. 092-738-1178
E-mail. kojima@1st-design.co.jp
https://www.1st-design.co.jp

利用者数が大幅アップしたインテリアデザイン。

意欲的なビジネスパーソンが集う大人の会員制ライブラリー「BIZCOLI（ビズコリ）」として2012年に移転オープン。
移転後の入館者数は10倍以上になり、現在は福岡だけでなく県外からの利用者も増加中。

BIZCOLI 交流ラウンジ
利用者同士の交流スペース。オリジナルのアームチェアは、「ソリ（雪車）」をモチーフとし、レイアウト変更を容易にした脚形状の軽快なデザイン。
壁面は、鹿児島・宮崎の霧島連山／新燃岳の火山灰を再利用し、焼成した煉瓦タイルを使用。書籍の見せ方にもこだわっている。

Photo : Ikunori Yamamoto

1）九州各地の素材を使用し、オリジナルに作成されたマテリアルに彩られた空間
2）空間を曖昧に分断することで、利用者同士の偶発的コミュニケーションを誘発

知の回廊
交流空間と集中空間を書架のゲート「知の回廊」を介して空間的に曖昧に分断することで、利用者同士の偶発的なコミュニケーションを誘発させるよう計画した。

知の森
間伐桧突板と手漉和紙、アルミと LED など伝統素材と無機質素材の組み合わせが独特の表情を見せる、閲覧コーナー。

マイデスクゾーン
桧の突板が封印された合わせガラスにより仕切られた、ブース形個室。

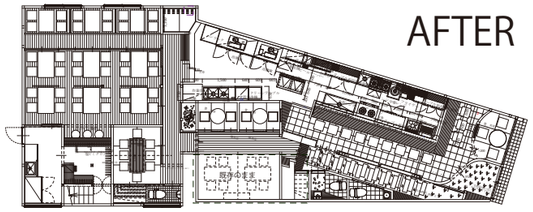
最終制作物：実施設計図書一式

36
公益財団法人 九州経済調査協会
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82-5F
Tel. 092-721-4900 Fax. 092-721-4906
E-mail. general@kerc.or.jp
www.kerc.or.jp

高須 学 (株)タカスガクデザイン アンド アソシエイツ
〒815-0082 福岡市南区大楠3-7-16-2F
Tel. 092-534-1773 Fax. 092-406-5349
E-mail. info@gaku-design.com
www.gaku-design.com

Interior Designの力で売れる空間創りのアイデア・仕組みを考える。

居酒屋の店舗リニューアル。「古き良き昭和な雰囲気のするレトロテイストで、ほっとする温かい場所、いろんなシーンで使ってもらえる様々なタイプの空間を」という希望。改装後、大繁盛に驚いたクライアントから「怖いくらいすごいことになってるよ！」（予約＆売上）現在も変わらず予約が絶えない大繁盛店へ。



＜リニューアル提案　平面図＞

古さが目立ち、インテリアテーマ性がなかった改修前。
リニューアル後の希望は、常連用カウンター席、ペア個室、VIP室、間仕切りをとれば団体も収容できる空間を考えたいとのこと。

そのお店ごとの目的に合ったインテリアデザイン。

「ただいま！と帰ってきたくなる温かい場所」「昭和なレトロ感」という希望のコンセプトにプラスして、必要席数売上UP！効率・動線・お客様目線の様々なシーンで利用してもらえる空間を総合的に検討し、BESTな間取り・デザインを提案。お料理・スタッフ・空間の「売るもの＋売る場」の全体の統一感が出来て、店中が、温かく、にぎわいのある良い雰囲気となった。地方紙やSNSにも多く取り上げられて「お洒落なお店で！暖かくて楽しくて！また来たくなる！」とお客様に大好評となっている。

インテリアデザインで喜ばれる商売繁盛の作戦を！

繁盛・継続する店をつくる為に、お客様に喜ばれるような空間や楽しい仕掛けを施した。「おもてなし」のカウンターは、一枚板。目線の高さにこだわり、足置き、荷物掛け、充電用コンセントもある。テーマに合わせた素材&デザインは、清潔で機能的で、わくわくするアイディア＆光の演出を各空間に。カウンターと分けた路地を抜けると奥へ、イベント・ライブの際には可変する大宴会場、吉祥・祝いの場VIPROOM、隠れ部屋的な小さな個室は女性やペアのお客様に大人気。様々なシーンに合わせて空間が楽しめるようになった。目的別に選べる部屋や大きな団体宴会も可能。

最終制作物：
インテリア設計／サイン（看板）・内・外装デザイン計画／施工・デザイン監修

37

泉屋　厚狭本店
〒757-0001 山陽小野田市大字厚狭12-28
Tel. 0836-72-2412
http://www.izumi-ya.com/honten/

寒竹 美佐子 株式会社 Zephyr Design（ゼフィア デザイン）
〒815-0082 福岡市南区大楠3-16-3
Tel. 092-534-2010 Fax. 092-534-2012
E-mail: zephyr.interior@gmail.com
https://interior-zephyr.com/

地域に信頼を広げつづける歯科医院。

歯科医師過剰により歯科医院数が増える中で、いかにして信頼を得て支持して頂くかを思考し、来院頂く患者様へ「おもてなしの心」を伝えるための「癒し！」をキーワードにした空間づくり。緊張感を和らげ安心して来院頂くように、清潔感のあるプチホテルをテーマに待合室や廊下は間接照明などを利用し、柔らかく温かいくつろぎの空間を演出している。

Ai アイ デンタル クリニック
DENTAL
CLINIC

2006年開業してより
地域に根ざして、
患者様に通院したい
「身近な歯医者さん」
として支持して頂ている。

基本設計・デザイン・デザイン監理・ディスプレイ

38

アイ デンタル クリニック
〒860-0004 熊本県熊本市中央区新町2-4-18
Tel. 096-356-2033
http://www.ai-dc.jp/

深町俊彦 深町俊彦+デザインコンプレックス
〒810-0021福岡市中央区今泉1-3-1TYビル301
Tel.092-775-4698 Fax.092-775-4698
E-mail. fukamachi@fdo.cdx.jp
http://fdo.cdx.jp

築93年の旧精米所を地域観光拠点のギャラリーへ改修。

IWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）で世界一の最優秀賞を受賞した酒蔵。観光客のための酒蔵ギャラリーへの改修が、日本酒ブームの観光拠点になり地域活性に貢献。

* 土壁は既存のままとし、黒皮鉄板と土壁のコントラストをつくりだしている

* エントランスブリッジ

** ギャラリー / 既存柱が建つ中に、光天井と吹抜が混在する

* 2F ロフト

* 改修工事中（2014 年 8 月）

新旧の要素を対峙させつつ、同時にそれらが渾然一体となって生み出す独特の空気をつくりだす。

大正末期創業の富久千代酒造にある登録有形文化財の旧精米所（1921年竣工）をギャラリーに改修した。計画では屋根の軽量化とともに傾きを修正し、梁下の鉄板による構造補強としている。木や内壁の土壁といった古材に対し、内壁の内側に構造補強の黒皮鉄板を挿入することで、93年前の内壁の土壁をそのまま残したデザインとしている。また、白い壁や天井が土壁・黒皮鉄板のどちらにも対比的な要素となり、その両者の重量感を調停する働きを演じさせている。

用途：ギャラリー　構造・階数：木造（黒皮鉄板による構造補強）・地上 2 階
建築面積：154.75 ㎡　延床面積：199.65 ㎡　竣工：2014 年 12 月

* (c) Y.Harigane (Techni Staff)　**(c) yousuke harigane

39

富久千代酒造有限会社
〒849-1322 佐賀県鹿島市浜町1244-1
Tel. 0954-62-3727
E-mail. info@nabeshima-saga.com
http://nabeshima.biz

平瀬有人 平瀬祐子 | yHa architects
〒812-0039 福岡市博多区冷泉町8-18-3B
Tel. 050-3478-5444　Fax. 050-3737-3405
E-mail. info@yha.jp
http://www.yha.jp

仮の設えを用いることで地域資源の活用方法が増えた。

水郷日田。九州北部豪雨で被災し河川敷利用の再考が求められた。市民が主導して社会実験を行い水辺を利用した賑わいづくりを検証した結果、仮の設えを用いる発想で水辺の利用が増加中。

地元のマダケを使用し手作りしたテント
仮設の空間が持つ気軽さが心地よい体験を生み出す。

竹テントを川べりに連ねた飲食スペース
テントを斜めに配して川風を抜かすとともに客席の独立感を持たせた。

鮎のやな場
日田の伝統漁法の鮎やな。

あるモノの活用
既存の椅子・テーブルを使った客席。

仮という気軽さや簡便さが次の動きを生む。

日田の伝統漁法「やな漁」の継承を目的に設立された「ひた鮎やな場」が 2012 年九州北部豪雨で被災し、河川敷利用の再考が求められた。そこで 2014 年に、地域資源のひとつである河川敷を活用し“水郷日田”を肌で感じられる水辺空間をつくり、賑わいを生み出す社会実験を行った。具体的には、地元のマダケを切り出して組んだテントを「やな場」脇の川沿いに並置して飲食スペースを整備し、川風や水音により涼感の得られる空間を創出した。仮設テントは、川の増水時に短時間で移動でき、地元の青年組織が制作等を行うことが条件であったため、県内のテント専門業者とチームを組んで試作を重ね、素人でも制作・設営・撤去が簡便に行えるようデザインした。利用者や地域住民からは好評で、仮の設えによる水辺利用の有効性が確認できた。その後、屋形船を活用した Bar や水上ライブなどが実行されており、河川利用の幅が広がっている。

最終制作物：竹テントを含む仮設飲食スペース

40

川床振興組合
〒877-0086 大分県日田市二串町345-3
Tel. 090-2395-4593　Fax. 0973-24-2755

栗田融　九州産業大学
〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1
Tel. 092-673-5700　Fax. 092-673-5799
E-mail. kurita@ip.kyusan-u.ac.jp
http://www.kyusan-u.ac.jp/kyugei/